

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

April / 11 / 2014 # 13

---

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

---

## INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『国際コンクール』

[2] Pepeのひとりごと

『やってみよう!』

[3] おすすめ動画 Trombone Ensemble

『PJBE Live in Japan 1979 Enncore The Carnival of Venice』

『Alain Trudel @ SJMA November 15th, 2010』

[4] 演奏のヒント!

『音量表示』

[5] これを吹きたい! \*新トピック\*

『Kopprasch全般』

[6] 編集後記

---

[1] 旬な話題、気になる話題

『国際コンクール』

国際コンクールと聞くとものすごいことのように感じるかもしれませんが（あ、もちろんコンクールのレベルは国内のコンクールに比べると一段と高くなりますよ。笑）、最初の一步を思い切って踏み出してみると、今まで知らなかったすごく大きな世界が見えてきて、さらに頑張ろう!という気持ちになるものなんですよ。

今はちょうどお隣の韓国で開催される国際コンクールの申し込みに間に合う時期なので（締め切りは5月30日の消印有効です）、その情報をお伝えします。

僕も何度か挑戦したことのある、韓国の済州島で開催されているコンクールです。

世界中から挑戦者が参加するコンクールで、とっても刺激を受けることのできるコンクールですので、ぜひ興味のある若い人はチャレンジしてみてくださいね！！

何より、こういうコンクールに出ているいろいろな国の人と交流を持って友達をたくさん作ることは大切だと思います。

主な目的はコンクールですが、ただいい演奏するためだけでなく、今後の自分の人生を豊かにするために、いろいろな経験を積むこともとても大切ですよ。

このコンクールは韓国で開催されるので、他の国で行われるコンクールに比べて旅費もそう高くはなりませんし（夏なので距離の割にはしますが。笑）、このコンクール、韓国以外からの申込者の滞在費は無料なんです（朝食付き！）。

初めての国際コンクールのチャレンジには最適だと思いますので、ぜひ挑戦してみてくださいね！！ ;)

ここで詳細を知ることができます。

[http://jiwef.org/english/competition/sub\\_01.php?PHPSESSID=c55590ec6e9f12fc7dbec24ab1951ef9](http://jiwef.org/english/competition/sub_01.php?PHPSESSID=c55590ec6e9f12fc7dbec24ab1951ef9)

ちなみに、毎年全ての楽器が対象なわけではありませんので、ご自身で確認してみてくださいね。

一人でも多くの若い音楽家が素晴らしい経験を積むことができることを願っています！ :D

## [2] Pepeのひとりごと

『やってみよう！』

先月に引き続き、今月も東京に行っていました。

今回は、昔からいろいろとお世話になっているお店や人に会いに行く1日を作りました。

こういう日（時間）を作るのは本当にいいですね。

自分の中にある感謝の気持ちが改めてはっきりしてきたのと、直接会って挨拶をするだけで、とても清々しい気持ちになって嬉しくなりました。

人は誰でも、たくさんの方に表立って、または陰ながらサポートしてもらいながら生きていると思います。僕はその感謝の気持ちは常に持っているつもりなのですが、それを実際に行動に移すことによって、とても自分の気持ちにも心地いいものがあることを知りました。

「行動に移す」と言っても、何をするってわけではないんです。お店をやってるから、とって何か買う必要もないと思います（いや、何かあればもちろん買ったほうがいいのですが、今回は本当に何も買う必要のあるものがなかったんです。涙）。

ただ、そこへ直接足を運んで顔を見せて、お互いの近況を報告しあう。それだけで十分だと思います。

今はSNSなどでお互いの日常を知りあうことが簡単にできますが、それでも全てがそこにあるわけではありません。

今回、実際に自分がそういう行動をやってみて、改めてその大切さを知りました。それと同時に、いろいろな形でサポートをしてくださっている僕の方の方たちへの感謝の気持ちも、よりはっきりと、深くなりました。

毎日何かしらの学びを得ようと過ごしていますが、今回のこの経験は、これからの僕の生き方にいい影響を与えてくれました。これからも、「ムリをしない程度に」こういうことをしていこうと思います！

みなさんも、ぜひこういう時間を作って実践してみてくださいね。少しだけ、毎日の景色が明るくなりますよ！ :D

### [3] おすすめ動画

『PJBE Live in Japan 1979 Enncore The Carnival of Venice』  
<https://www.youtube.com/watch?v=IZ6O3IXI6sk&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg>

今回1つ目の動画は、今のプラスアンサンブルの基礎となったと言っても過言ではないグループ、「Philip Jones Brass

Ensemble(PJBE)」の1979年の日本来日公演でのアンコールの動画です（この時僕は2歳！笑）。

今やこのような面白さも含んだアンコールや演奏はいたるところで接することができますが、この時代には本当に珍しかったと思います。

今のMnozil Brassの先祖と言ってもいいでしょうね（笑）。

僕たちの世代は、このPJBEの演奏を聴いて育ちました。今でもたくさん彼らの演奏から学ぶことはあります。こうして何十年経ってもその時代の音楽家にいい影響を与えられるような音楽家になりたいものです。 ;)

『Alain Trudel @ SJMA November 15th, 2010』

[https://www.youtube.com/watch?v=m\\_0b5kkL83g&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg](https://www.youtube.com/watch?v=m_0b5kkL83g&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg)

2つ目の動画は、Tromboneの名手、Alain Trudel氏の動画です。学校で小さい子どもたちに音楽のことを話しているのですが、途中で演奏も少しやります。彼のらく〜〜に吹く様子がよくわかりますよ。 :D

彼のレッスンを受けたことがあるのですが、とっても深くて僕にはと〜〜っても勉強になって良かったです。その前から彼の演奏はCDで聴いてとても好きだったのですが、実際に彼のレッスンを受けて、あと演奏を近くで聴いて、さらに彼のファンになりました！！

実は、彼は過去の（たぶんもう今は治ったと思います）病気の関係で今は演奏家としてではなく指揮者をメインに活動しているのですが、ぜひみなさん、機会があれば彼の演奏を聴いてみてくださいね。CDもあるので、ぜひ探してみてください！ ;)

#### [4] 演奏のヒント！

『音量表示』

楽譜には音符の他にもいろいろなことが書かれています。その音符をどのように表現するのか、テンポは、などなど。その中でも頻繁に出会うことが多いのが音量表示ですよ。

みなさん、知っていましたか？（もしくは、意識したことはありませんか？）

音量表示は書かれているところから効力を発揮しますが、どこまでその効力があるのか、という意味での表記はありません。

気づいていましたか?? :)

ここ、僕はかなり重要だと考えています。

音量表記があった場合、その音量がどこまで持続するのかを考えてみると、いろいろな音楽表現が見えてくると思います。ソロでも吹奏楽でもオーケストラでも、何にでも言えることだと思うので、ぜひ考えてみてくださいね。

僕は、必ずしもその指示通りにする必要はないと考えています。その表記やその効力のことを考えた上で、少しずつその効果が減衰していくのか、そのまま減衰しないでいくのかを判断して、自分自身の音楽を作っていくといいと思います。

そうすると、一つの曲にもいろいろな表現の選択肢が増えそうですね? (笑)

さあ、みなさん。今練習している曲の音量表示をもう一度見なおしてみましょう!

そして、(音量表示のその先の音量について)何も考えないで吹いていたことに気づいて、その曲の今まで見えなかった表現の仕方を見つけていきましょう!

きっと、いろいろな曲で練習が楽しくなりますよ～。:)

[5] これを吹きたい!

### 『Kopprasch全般』

今号からの新トピックです! :)

このトピックでは、曲やエチュードの練習の仕方について具体的に書いていこうかと考えています。

できれば、読者のみなさんからの希望の曲やエチュードを元にやっていきたいと思っていますので、取り上げてもらいたいソロ曲(楽章がある場合は、楽章を指定していただけると嬉しいです。全楽章というのもありですよ!)やエチュード(番号まで指定してくださいね)があれば、気軽にメールで連絡をください(メールアドレスは、最後に記載されています)。

まず第1回目として、有名なエチュード、Kopprasch全般について書こうと思います。

このエチュードは、一つのをいろいろなアーティキュレーションで練習するように書かれています。

みなさん、やったことはありますか？

例として書かれているのは最初に少ししかないので、途中でわからなくなってしまうたり、できているのかできていないのかの判断が甘くなってしまうことが多いと思います

（こういう経験をしたことある人は結構いるはず・・・しかも最初のほうの番号のみ。もちろん、僕もその中の一人ではありませんが。笑）。

こういう場合は、まとめて最初から最後までやろうとしないで、少しずつ、例えば4小節や8小節ずつ練習してみてくださいね。そうすると、新しいアーティキュレーションでしっかり吹けるようになるまで練習できます。

アーティキュレーションを変えてやる場合、僕は最初から最後までやる必要は、「必ずしも」ないと思います。

もちろん可能ならやってみてくださいね（笑）。

しかし、面倒なアーティキュレーションの場合はなかなか大変だと思います。

まずオリジナルの形で通して吹けるようになった人は、半分とか3つくらいに分けてやったのでいいと思います（最初は数小節でいいと思いますが、ある程度の小節数はまとめて吹くようにしましょうね。例えば16小節とか）。

さあ、Koppraschのエチュードを持っている人は、さっそく出してもう一度さらってみましょう～。

持っているエチュードを使って、新しい練習ができますよ！

読者のみなさんからの曲やエチュード希望の連絡を待っています！

お気軽にどうぞ！

（僕が持っていないものに関しては対応できないことがあると思います。その点に関しては、事前にご了承ください。

-----

## 編集後記

このメールマガジン、月に一回の発行で無事一年間続けることができました。

購読してくださっている読者のみなさん、本当にありがとうございます！

僕の今までの経験から、みなさんに少しでも役に立つことを発信していきたいと思っていますので、気軽に感想や内容に関する要望を送ってくださいね。

今後の参考にさせていただきます。

今号から、新しいトピック「これを吹きたい！」というのを作ってみました。

練習しているものや練習しよう、したいと思っているもの（曲にかぎらず練習曲でもOK）に関して、練習するときの注意するポイントやコツなどを発信していければいいなあ、と考えています。

これに関しても、希望するものがあればぜひ気軽に教えて下さい。複数のもも、少しずつやっていますので歓迎ですよ～！

これからも、よろしく願いいたします！

---

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

[info@pepeabe.com](mailto:info@pepeabe.com)